

「東日本大震災の後、中日新聞が記事でうちを取り上げてくれたことで、トヨタ自動車との付き合いが始まった」

に、わざわざ型から铸物で部品を作ってくれた。数日でだよ」

トヨタ自動車の手厚い対応に、千葉さんは心の底から感激したと言います。

「子どもの頃から、この織機は豊田佐吉という人が作ったんだよ」と教えられて育ったけど、こんな風にトヨタの方達に大切にしてもらえるなんて思わない

「震災の一年後、津波被害の取材に来

た記者が、内陸でもひどいところ

工場の壁に貼られた新聞記事の日付が、今から十一年前、平成二十四年二月二十六日。第一面には織機を操作す

る千葉さんの大きな写真が。

「震災の一年後、電話が来たの」

その電話の主は白根武史さん。当時

関東自動車工業の顧問で、その年の七月に発足するトヨタ自動車東日本の初代社長となる人でした。

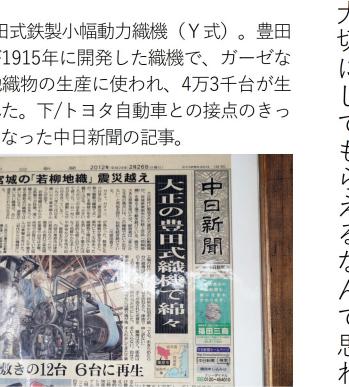
「今度新しくできる会社の社長になる

白根と言います、つて。ちょうど豊田佐吉生誕一五〇周年の新聞記事を作っ

てある、とうちの話を聞いて取材に来てね。中日新聞だから、トヨタ自動車の人達が見ないわけがない。それで記事が出て数日後、電話が来たの」

「今度新しくできる会社の社長になる白根と言います、つて。ちょうど豊田佐吉生誕一五〇周年の新聞記事を作っ

てある、とうちの話を聞いて取材に来てね。中日新聞だから、トヨタ自動車の人達が見ないわけがない。それで記事が出て数日後、電話が来たの」



「若い人たちが入ってこられるように、のものはできないんじやないか」と
「それでもまだ自分にできることがあるのではないか。千葉さんの中には、これから工芸を担う世代への憂慮もありました。千葉さんは優しいまなざしに込められた強い思い。自問は続いています。



千葉孝機業場

栗原市若柳字川北塚ノ越12
TEL/0228-32-3087
○営業時間／お問合せください

